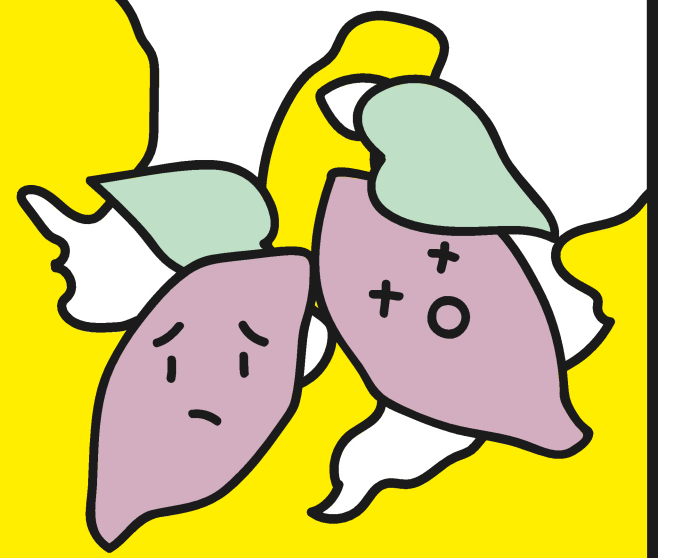


サツマイモ基腐病 対策のポイント



1 基腐病の特徴

基腐病の原因はカビ(糸状菌:基腐病菌)です。

- 菌は種いもで発病します。
- 感染した苗(見た目にはわからないこともある)を畑に植え付けることで、菌は畑で増加します。
- さつまいも収穫後のクズいもやツルなどで越冬して次作の発生源になります。
- 基腐病に感染すると葉が変色し、いものなり口から腐敗していきます。



地上部の枯死

2 基本的な3つの対策

サツマイモ基腐病の被害を抑えるには
総合的に取り組む必要があります

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1.畑に菌を「持ち込まない」対策 | 種いもの選別・消毒、苗床の土壌消毒、定植苗の消毒 等 |
| 2.畑で菌を「増やさない」対策 | 排水対策、病気に強い品種の選定、計画的な転換・輪作 等 |
| 3.畑に菌を「残さない」対策 | ほ場の土壌消毒、交換耕作、水田や葉たばこ跡地の活用 等 |



3 植付け前に行う作業のポイント～今やること～

1 健全な畑に植える!

- 前年、被害の発生がなかったほ場では、健全な苗を確保し、基本技術の励行に努めましょう。
- 前年、被害が少なかったほ場では、早植え・早掘りの実施や品種の変更など検討しましょう(詳細は裏面防除暦を参照)。
- 前年、被害が大きかったほ場では、やめて2年以上さつまいもを植付けていない畑や水田で栽培しましょう。

2 ほ場外へ雨水をスムーズに排水する!

- ほ場周囲の明きょ、枕畝の除去、枕畝を切るなど排水溝を設置しましょう。
- ほ場外の排水路のつまりがないか確認しましょう。

枕畝を切った排水溝



3 早植えでは地温の確保が重要である!

- 基腐病は前年被害が少なかったほ場では、早植え・早掘りを実施することで被害を軽減する場合があります。
- 3月中に植付けを行う場合は、地温を高める効果がある透明マルチを使用しましょう。

4 健全な苗を植える!

- 苗床で基腐病の症状のある株は、速やかにハウス外に持ち出し、処分しましょう。
- 採苗は、株の地際から5cm以上で切り上げて、速やかに必ず苗消毒をしましょう。
- 消毒液は、必ず使用する当日に調整したものを使いましょう。
- 採苗時のハサミは、こまめに消毒しましょう(火炎滅菌または丁寧な洗浄と拭き取り)。



本紙でのデータ等は、農研機構生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業(01020C)」の成果を引用